

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体				
Q 建築物の環境品質												2.9				
Q1 室内環境									0.40			3.1				
1 音環境								2.6	0.15	3.4	1.00	2.7				
1.1 騒音				住居部: NC40以下				2.0	0.40	4.0	0.40					
1 室内騒音レベル								2.0	1.00	4.0	1.00					
2 騒音発生対策									-		-					
1.2 遮音													3.0	0.40	3.0	0.40
1 開口部遮音性能								3.0	0.40	3.0	0.30					
2 界壁遮音性能								3.0	0.60	3.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									-	3.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									-	3.0	0.20					
1.3 吸音													3.0	0.20	3.0	0.20
2 温熱環境													2.7	0.35	3.0	1.00
2.1 室温制御								2.5	0.50	3.0	0.50					
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57									
2 室温変動・室温制御					-		-									
3 外皮性能				1.0	0.25	3.0	0.43									
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-									
5 温度・湿度制御					-		-									
6 室温・湿度変動					-		-									
7 室温・湿度変動					-		-									
8 室温・湿度変動					-		-									
2.2 湿度制御								3.0	0.20	3.0	0.20					
2.3 空調方式								3.0	0.30	3.0	0.30					
1 上下温度差					-		-									
2 平均気流速度					-		-									
3 光・視環境								2.6	0.25	3.3	1.00	2.7				
3.1 昼光利用				病室昼光率3.0%				1.8	0.30	4.2	0.30					
1 昼光率								1.0	0.60	5.0	0.60					
2 方位別開口									-		-					
3 昼光利用設備								3.0	0.40	3.0	0.40					
3.2 グレア対策													3.0	0.30	3.0	0.30
1 グレア対策									-		-					
2 昼光制御								3.0	1.00	3.0	1.00					
3.3 照度													3.0	0.15	3.0	0.15
1 照度									-		-					
3.4 照明制御													3.0	0.25	3.0	0.25
4 空気質環境								4.2	0.25	4.2	1.00	4.2				
4.1 発生源対策				F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も全面的に採用している				5.0	0.63	5.0	0.63					
1 化学汚染物質								5.0	1.00	5.0	1.00					
2 化学汚染物質									-		-					
3 化学汚染物質									-		-					
4.2 換気													3.0	0.38	3.0	0.38
1 換気量								3.0	0.50	3.0	0.33					
2 自然換気性能									-	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮								3.0	0.50	3.0	0.33					
4.3 運用管理														-		-
1 CO ₂ の監視									-		-					
2 喫煙の制御					-		-									
Q2 サービス性能								-	0.30	-	-	3.4				
1 機能性								3.9	0.40	3.2	1.00	3.8				
1.1 機能性・使いやすさ				バリアフリー誘導基準を超えて十分な配慮を行っている				5.0	0.40	3.0	0.60					
1 広さ・収納性									-	3.0	1.00					
2 高度情報通信設備対応									-		-					
3 バリアフリー計画								5.0	1.00		-					
1.2 心理性・快適性													3.0	0.30	3.5	0.40
1 広さ感・景観									-	4.0	0.50					
2 リフレッシュスペース									-	3.0	0.50					
3 内装計画								3.0	1.00	3.0	0.50					
1.3 維持管理													3.5	0.30		-
1 維持管理に配慮した設計								4.0	0.50		-					
2 維持管理機能の確保				3.0	0.50		-									
3 維持管理機能の確保					-		-									
2 耐用性・信頼性								3.1	0.31		-	3.1				
2.1 耐震・免震				病室: 床ビニルシート(モルタル金網)、壁ビニルクロス(GL工法Pbt12.5.LGS下地Pbt9.5+12.5)、天井天井ロックウール化粧吸音板t9(Pbt9.5)				3.0	0.48		-					
1 耐震性								3.0	0.80		-					
2 免震・制振性能								3.0	0.20		-					
2.2 部品・部材の耐用年数													3.1	0.33		-
1 躯体材料の耐用年数								3.0	0.23		-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								3.0	0.23		-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								5.0	0.09		-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								3.0	0.08		-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								3.0	0.15		-					
6 主要設備機器の更新必要間隔								3.0	0.23		-					

2.3 適切な更新	1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新			-			
	2 配管・配線材の更新			-			
	3 主用設備機器の更新			-			
	2.4 信頼性		3.4	0.19			
	1 空調・換気設備	井水の利用、二層式受水槽の採用 非常用電源設備を設置	3.0	0.20			
	2 給排水・衛生設備		4.0	0.20			
3 電気設備	4.0		0.20				
4 機械・配管支持方法	3.0		0.20				
5 通信・情報設備	3.0		0.20				
3 対応性・更新性			3.3	0.29	3.5	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	4.0	0.50	
1 階高のゆとり			4.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1 空調配管の更新性			3.0	0.17			
2 給排水管の更新性			3.0	0.17			
3 電気配線の更新性			3.0	0.11			
4 通信配線の更新性			3.0	0.11			
5 設備機器の更新性			3.0	0.22			
6 バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建築物の熱負荷抑制			4.0	0.30			4.0
PAL低減率21.2%							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2a 実施・竣工			3.0	-			
2a 基本			3.0	1.00			
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化			4.7	0.30			4.7
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			4.7				
ERR=29.2%							
ERR=29.2%							
集合住宅の評価							
3.1 空調設備			-	-			
3.2 給排水設備			-	-			
3.3 給電設備			-	-			
3.4 給気設備			-	-			
3.5 給排水設備			-	-			
3.6 給電設備			-	-			
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63			3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.24			
躯体+軽鉄+仕上材のデテールとし、GL工法・OA707-を採用している							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.32			
PRTR法の対象物質を含有しない建材種目が3つある							
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			4.0	0.33			4.0
ライフサイクルCO2排出率=75%							
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動			-	-			
3 悪臭			-	-			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			